

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 令和4年12月1日

送信先: report@r-ict-advisor.jp

派遣決定番号

報告回次

1日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

| | | | |
|-------|-------------------------|-----------|--------------|
| 団体名 | 新冠町役場 | 代表者名 | 鳴海 修司 |
| 担当者部署 | 企画課 | 連絡先電話番号 | 0146-47-2498 |
| 担当者役職 | 企画課長 | 担当者氏名 | 佐渡 健能 |
| | | 連絡先E-mail | |
| 住所 | 059-2492 北海道新冠町北星町3番地の2 | | |

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

| | |
|-----------------------------|--|
| アドバイザー | 本多 康幸 |
| 評価 | よい |
| 上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に） | 講演テーマである「自治体におけるDX」について、DXの基礎知識から、日本経済や人口減少・少子高齢化等、社会構造の変化におけるまちづくりに対し、どのように普及させていくのか、また様々な分野における先進的な事例の紹介、自治体DXの進め方についての講演の内容となっており、総合的なDXについての知見を得ることができ、さらには各町との意見交換等によって、地域課題に掘り下げたアドバイス等を受けられる有意義な時間であったと感じました。 |
| アドバイザーへの要望事項 | |

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

| | | | | | |
|-------------|---------------|---------------------------|--------------|------------------|----------|
| 3-1. 対応日・時間 | 派遣日予定日（申請書より） | 支援内容（申請書より） | 期日・支援内容の変更あり | | |
| | 令和4年11月29日 | 講演(実地) | 無 | | |
| | 実施した派遣日 | 実施した支援内容 | 開始時刻 | 終了時刻 | 内休憩時間（分） |
| | | | 14時00分 | 16時00分 | |
| | | | | 活動時間（分） | 120 |
| 3-2. 派遣場所 | 会場名 | ふれあいセンターびらとり 1F 視聴覚ホール | 最寄駅 | JR駅は御座いません | |
| | 所在地 | 〒055-0192 北海道沙流郡平取町本町28番地 | 最寄駅からの交通手段 | JR等の交通機関利用できません。 | |

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

| | |
|------|--------------------------------------|
| 掲載許可 | <input checked="" type="radio"/> 掲載可 |
|------|--------------------------------------|

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

| | | |
|--|---|-----|
| 5-1. 支援を受けた対象者 | 属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】 | 人数 |
| | 日高管内町議会議員、役場職員、一般 | 30人 |
| 5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果 | | |
| 事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい） | 日高管内全域において光回線が整備がされ、今後は社会構造の変化に対して、超高速回線網を有効的に活用しながら、幅広い世代への波及を進め、管内各町毎に特化した付加価値を見出ししていくかが課題となっております。その他、現代のデジタル化以降の時代においては、デジタル化に対してアレルギーを持つ方も多く、そういった方への理解についても大きな課題のひとつとなっている。 | |
| 支援により目指す成果（具体的にご記入下さい） | 社会情勢の変化や、様々な課題もある中で、多様な分野への波及が可能なICT化、さらにはDX化を上手くかみ合わせながら、まちづくりにとって有益なツールとしていくことについて講演いただきましたので、今後の活用促進に向けて、多くの方々へその知識と理解が得られるようなセミナー等を実施しながら、より多くの方にICT、DXの可能性を知ってもらい、様々な分野の現場の声とのマッチングの可能性を見出ししていきたい。 | |
| アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい） | 「自治体におけるDX」について、DXの基礎知識から、日本経済や人口減少・少子高齢化等、社会構造の変化におけるまちづくりに対しどのように普及させていくのか、また様々な分野における先進的な事例の紹介、自治体DXの進め方など、DXの総合的な知見を得ることができた。 | |
| 支援を受け改善又は解決された内容 | 自治体におけるDX化についてをうまく活用していくために、今後どのような課題が想定され、どのようなアプローチを行っていくのかについてヒントを得ることができた。具体的にはDX化を推 | |

| | | |
|---|---|-------------------------|
| (具体的にご記入下さい) | どのようなアプローチを行なうべきかについてヒントを得ることができた。具体的にはレベルを進めるにあたってサービスを受ける側にとってどのようなメリットが生まれるかを明確に、さらにデジタル化に対するアレルギーを持つ方へのアプローチテクニックなど、今後想定される課題への取り組み方についても参考とすることができた。 | |
| 具体的な成果物 | 最も当てはまるものをリストより選択下さい。 | ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない |
| 改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください) | これまでのセミナーの参加者人数は増加傾向にあるが、より多くの方に関心を持ってもらうよう、参加者数の更なる増加について、各自治体への協力体制を構築しながら周知方法の工夫などを図っていききたい。 | |
| アンケートの内容と分析結果 | 講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 | |
| 5-3. 今後の計画 事業の最終的な目指す姿 | 最も当てはまるものをリストより選択下さい | ③現段階では課題・問題が残っているため未定 |

未記入のセルが有ります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。
なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

1-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



